

# — やすらぎの里 しすいづくり —

## 豊かな自然と歴史を大切に やさしさと活力ある安全・安心な町



登庁式で職員から花束を受け取る小坂町長

町民の皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の町長選挙におきまして、再選し酒々井町長に就任して初めての新年を迎えました。町民の皆様から寄せられました期待の大きさと責任の重さに身の引き締まる思いと、今後の町政運営に精魂を傾けて努力していくべく決意を新たにしたいところでございます。

あけまして  
おめでとう  
ございます



酒々井町長  
小坂 泰久



### 4年間を 振り返って

私の町長としての1期4年間の町政運営は、大変厳しいものがございましたが、町民の皆様のご理解とご協力のもと、町の借金体質からの脱却を目指すとともに、町民福祉の向上と町の均衡ある発展を図るため、子育て支援をはじめ教育環境の整備、安全・安心のまちづくりなど、各種施策に取り組んできたところでございます。

### まちづくりの 第2ステージ

町長としての2期目にあたりましては、計画期間5年の折り返しとなりました第4次総合計画第3期基本計画の達成に向けたさらなる推進を図るとともに、現在策定に向け

て作業が開始された新たな総合計画において、町民皆様のご意見をいただきながら、これまでのまちづくりの成果を活かし酒々井町のさらなる発展を遂げるために、取り組んでいかなければならないものと考えております。

懸案でありました県が実施する酒々井IC事業につきましては、スタートは遅れたものの、現在順調に進められており、骨格となる町道墨七栄線の一部町事業も財政的に必要最小限に整理し、見直しも立ちましたことから、まちづくりの第2ステージとして、中心市街地の活性化、バリアフリー化をはじめ、「まちの顔づくり」すなわち、先進福祉「千葉県一」のモデル町づくりを進めるなど、ソフト事業を中心に酒々井町の歴史的文化遺産や恵まれた自然環境を活かし、活力あるまちづくりを進めてまいります。

また、子どもたちがのびのびと健やかに育ち、そして高齢者等を地域全体で支え合い助け合えるまちづくりを進め、子どもから高齢者まですべての人たちがいきいきと安心して暮らせる「コンパクト

シティ酒々井」づくりをさらに進めてまいりたいと考えております。

そのためには、安全・安心など喫緊の課題への対応のほか、中・長期的には、行財政基盤の安定確保を図り、福祉施策の充実やさらなる子育て施策など、町民参加のもと「支え合い・助け合い」による持続可能なまちづくりを一歩ずつ着実に進め、確かな明日を築いてまいりたいと考えております。

すなわち、子どもには夢を、青年には希望を、壮年には輝きを、高齢者には安全・安心を届けてまいりたいと考えております。

以上、今後の町政運営について申し上げますが、酒々井町の豊かな自然と歴史を大切に、やさしさと活力ある安全・安心な町「やすらぎの里しすいづくり」を進めてまいります。

今後とも町政に対しまして皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が皆様方にとりましてすばらしい一年でありますよう心からお祈り申し上げます。新年のあいさついたします。